

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
浜田ビューティーカレッジ		昭和62年9月9日		安岡 ひとみ		〒697-0022 島根県浜田市浅井町1429番地20 (電話) 0855-22-7130																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人白蓮学園		昭和62年9月9日		井田貫大		〒697-0022 島根県浜田市浅井町1429番地20 (電話) 0855-22-7130																							
目的	学校教育法、美容師法に基づく、将来美容師になろうとする者に必要な知識技能を授け、併せて徳性を涵養する。																												
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士																						
衛生	衛生専門課程		美容科		平成17年文部科学省告示第30号		—																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	2100	1260	0	840	0	0																						
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数																					
40人		12人		6人		6人		12人																					
学期制度	■1学期:4月 1日～ 8月24日 ■2学期:8月25日～12月末日 ■3学期:1月 1日～ 3月末日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験を行い100点法で60点未満は不認定とする。																							
長期休み	■学年始:4月1日～入学式前日まで ■夏季:7月21日～8月24日まで ■冬季:12月第4週～翌年1月第1週まで ■学年末:3月第2週～3月末日まで			卒業・進級条件		進級:学年末の成績評価が全科目60点以上で出席率80%以上。 卒業:各科目60点以上、出席率90%以上。 認定会議で授業態度も考慮して決定。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・時間設定はしていないが、必要に応じて課外で相談を実施している。			課外活動		■課外活動の種類 ・地域の祭りに参加 ・高齢者施設でのボランティア活動 ■サークル活動: 無																							
就職等の状況	■主な就職先、業界等 東京、大阪、広島、県内等の美容室 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 100% ■その他 ・進学者数 0人 令和5年度卒業者に関する 令和6年5月1日時点の情報			主な学修成果(資格・検定等)		■国家資格・検定/その他・民間検定等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル技能検定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AFT色彩検定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②			ネイリスト技能検定				ジェルネイル技能検定				AFT色彩検定			
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
美容師国家試験	②																												
ネイリスト技能検定																													
ジェルネイル技能検定																													
AFT色彩検定																													
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 令和6年4月1日時点において 在学者 12名 (令和6年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において 在学者 12名 (令和6年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ・学習意欲の減退 ・経済的理由 ■中退防止のための取組 ・カウンセリングの実施 ・個別面接 ・家庭との連携																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 ・入学金無償化制度 ■専門実践教育訓練給付 ・高等教育就学支援制度																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:																												
当該学科のホームページ																													

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

①専門分野の美容の知識や技術についての学校への要望を聞き、積極的に授業に取り入れていく。

②必修科目である実習において、年間10時間から20時間程度店舗に出向き、美容技術や接客の心得を直接学ぶ機会を設定する。

③選択科目である総合技術において、卒業年次に年間4時間程度、就労するにあたっての心構え、試験面接に関する対応、仕事に就いてからの留意事項等を聞く。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

本校の諮問機関として位置づけ、本校のカリキュラムや学習内容、方法について幅広く意見を聴き、教育課程の改善に資する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
今田 泰	石央文化ホール	2年	①
藤井 美奈子	島根県美容業生活衛生同業組合	2年	③
岡 信孝	(有)オカコーポレーション	2年	③
芦谷 英夫	浜田市議会議員	2年	①
神山 正博	元県立高校校長	2年	
井田 貫大	学校法人白蓮学園	2年	
安岡 ひとみ	学校法人白蓮学園浜田ビューティーカレッジ	2年	
島本まゆみ	学校法人白蓮学園清明理容学校	2年	
澳本 千栄子	学校法人白蓮学園浜田ビューティーカレッジ	2年	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

理事長の招集により本校にて開催する。教育課程編成時期を踏まえて年2回以上開催する。7年度は7月、2月予定。

(開催日時)

第1回 令和6年7月24日(月) 14:00～15:30

第2回 令和7年2月22日(土) 14:00～15:15

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

第1回の委員会で「SNSをもっと活用して学校のPRをしたらどうか」という意見があり、その後、SNSで学校の様子を紹介をしている。また、第2回の委員会では「長期人材育成コースでの社会人入学を力を入れたらどうか」という意見があり、今年度は早い時期から計画的に取り組むこととしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

①実際に美容業界で活躍している人を積極的に講師として招聘し、実技指導をお願いする。

②店(サロン)との連携を一層密にし、生徒の現場実習を引き受けてもらう。

③企業の協力を得て、最新の美容技術を取り入れていく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

①美容業界の方による染毛に関する講義と実技指導。

②サロンでの実習における指導と個々の評価。

③授業(実習)におけるサロンの方の実技指導。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	ヘアカラーの理論と実習	・ホーユー株式会社
美容実習	接客、タオル洗濯、清掃、アシスタント等のサロン実習	・美容室キュービック ・ビューティーサロンまきこ ・美容室・マジック ・BOBヘアー浜田店・江津店

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員研修は、本校研修規定に基づき、教員の専門分野の知識・技術向上、新時代に相応しい教育内容にすると共に、教員の指導力の向上、人格の涵養に資するために行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・美容業界の方に来ていただき、生徒研修の後に職員研修もしていただき、職員の染毛に関する知識と技能の向上に努めた。
- 「研修名「ホーユー研修会」  
期日：令和6年11月20日（水）（連携企業等：ホーユー株式会社）  
内容：染毛の仕方

・島根県専修・各種学校連盟主催の専修学校フェスティバル、全国理容美容教育センター主催の全国理容美容学生技術大会中国地区大会等に参加し、他校の指導者との情報交換を行い、本校の指導に生かした。

「研修名：島根県理容美容組合技術大会」（連携企業等：島根県専修学校連盟）

期日：令和6年7月1日（月）：出雲市  
内容：国家試験技術

「研修名：全国理容美容学生技術大会「中国大会」（連携企業等：理容美容教育センター）

期日：令和6年8月21日（水）：鳥取県  
内容：国家試験技術

・職員会議を定期的に行き、議題として、生徒理解、指導法について意見交換し、共通理解を図りながら実際の指導にあつた。  
(随時開催)

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・コンテスト等に積極的に参加し、新しい技術や流行を学び取る。
- ・様々な分野の講師を招聘し、新しい技術を学ぶ。
- ・校内研修を行い、職員相互に技能、技術を高めていく。

② 指導力の修得・向上のための研修等

・島根県専修・各種学校連盟主催の専修学校フェスティバル、全国理容美容教育センター主催の全国理容美容学生技術大会中国地区大会等に参加し、他校の指導者との情報交換を行い、本校の指導に生かしていく。  
・職員会議を定期的に行き、議題として、生徒理解、指導法について意見交換し、共通理解を図りながら実際の指導にあたる。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の実情に詳しい業界の方や卒業生、さらには市民を代表するような方に評価委員をお願いし、幅広く意見を伺い今後の学校運営に生かしていく。

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。 ・学校の理念、目的、育成人材像、特色が保護者等に周知されているか。
(2) 学校運営	・目的に沿った学校運営方針や事業計画が策定されているか。 ・運営組織や意志決定機能は、有効に機能しているか。 ・教務、財務等の組織整備は適切に行われているか。 ・人事、給与に関する規則は整備されているか。 ・教育活動に関する情報公開が適切に行われているか。
(3) 教育活動	・教育課程の編成・実施方針が策定されているか。 ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。 ・成績評価・単位認定、進級、卒業の基準は明確になっているか。 ・資格取得目標に向け指導体制、カリキュラム等の取組が行われているか。 ・人材育成目標達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか。また、職員の能力開発のための研修等が行われているか。
(4) 学修成果	・就職率の向上が図られているか。 ・資格取得率の向上が図られているか。 ・退学率の低減が図られているか。 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5) 学生支援	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 ・卒業生への支援体制はあるか。
(6) 教育環境	・施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか。 ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ・学納金は妥当なものになっているか。
(8) 財務	・予算・収支計画は有効活当なものになっているか。
(9) 法令等の遵守	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・学校を地域にもっとアピールした方がよいという意見をいただき、地域の祭りである「浜っ子まつり」に参加した。
- ・入学生を増やすために、県外生の募集も積極的に行った。
- ・就職率100%を今後とも続けてほしいという意見に基づき、協力していただく企業(店)の拡大に努めた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中山 良一	浜田市職員	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
藤井 美奈子	島根県美容業生活衛生同業組合	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
岡 信孝	(有)オカコーポレーション	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
芦谷 英夫	浜田市議会議員	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 令和6年5月 )

URL: <http://www.hamada.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校のホームページやSNS等を活用して積極的に情報を提供し、学校の取り組みを理解していただく。また、積極的にサロン等に出かけたり、会議の折りに議題として取り上げたりして、一層の連携を図っていく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校基本情報、経営方針、沿革、学園の理念・目標、使命、基本方針
(2) 各学科等の教育	専門課程、高等課程、通信課程、多様な資格を取得可能
(3) 教職員	専門課程教職員数、教職員一覧
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリアサポート、主な就職先
(5) 様々な教育活動・教育環境	HBCグランドコンテスト、年間スケジュール
(6) 学生の生活支援	学生サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費、奨学金
(8) 学校の財務	資金収支計算書
(9) 学校評価	自己評価年度、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) 令和6年5月 )

URL: <http://www.hamada.ac.jp/>

授業科目等の概要

(専門課程美容科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容に関する衛生法規、美容師法について学ぶ	2通	30	1	○			○			○	
○			衛生管理	公衆衛生、感染症、消毒法等について学ぶ	通年	90	3	○			○			○	
○			保健	人体の組織や皮膚等の構造や機能について学ぶ	通年	90	3	○			○			○	○
○			香粧品化学	香粧品について正確な知識と香粧品による危害の防止等について学ぶ	通年	60	2	○			○			○	○
○			文化論	ヘアースタイル、ファッション、服飾の歴史や造詣、色彩等について学ぶ	通年	60	2	○			○				○
○			美容技術理論	器具類の操作方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論について学ぶ	通年	150	5	○			○			○	
○			運営管理	将来美容所を経営する際の運営、経営、接客等について学ぶ	2通	30	1	○			○			○	
○			美容実習	美容の基本的技術を安全的にかつ効果的に行うことを学ぶ	通年	900	30				○	○	○	○	○
	○		エステティック技術	エステの歴史、理論と技術を学ぶ	1通	30	1	△			○	○		○	
	○		総合美容技術	美容実習で学んだ知識、技術をさらに発展させ、ネイル、メイク等の検定を受ける	通年	570	19	△			○	○		○	○
	○		ビジネスマナー	実際の接客時のマナーや電話対応などを学ぶ	1通	30	1	○			○				○
	○		美容カウンセリング	目的、要望に適切なカウンセリングができるように学習する	2通	30	1	○			○			○	
	○		芸術	色彩に関する知識と色彩検定受検をめざす。	1通	30	1	○		△	○				○
合計				12科目		2, 100単位時間(70単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学年末の成績評価が全科目60点以上で出席率80%以上を進級とする。卒業は、各科目60点以上出席率90%以上で卒業と認定する。また、授業態度も考慮する。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	14週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。